

令和4年産花木等生産状況調査結果(主産県)

【調査結果の概要】

1 花木類

作付面積及び出荷量はツツジ、出荷額はヒバ類が最も多くなっている（その他花木を除く）。

2 芝

作付面積、出荷量、出荷額のいずれも日本芝が多くなっている。

3 地被植物類

作付面積、出荷量、出荷額のいずれもジャノヒゲ類が最も多くなっている。

表1 令和4年産花木等の作付面積、出荷量及び出荷額（主産県）

類・品目	作付面積	出荷量	出荷額
花木類	a	千本	千円
ツツジ	16,800	3,760	1,087,000
サツキ	11,700	3,070	801,700
カイヅカイブキ	2,740	219	156,200
タマイブキ	229	20	3,020
ツバキ	5,580	483	207,900
モミジ	6,400	731	718,300
ヒバ類	15,100	3,090	1,494,000
ツゲ類	4,030	757	274,400
その他花木	168,400	18,400	9,533,000
芝	a	a	千円
日本芝	438,400	328,200	6,265,000
西洋芝	25,200	21,000	988,800
地被植物類	a	a	千円
つるもの類	496	74	184,800
タケ・ササ類	335	53	117,100
ジャノヒゲ類	3,090	2,320	972,000
草本類	2,720	1,040	626,300
木本類	1,090	670	398,800

○ 本調査は、全ての都道府県を対象にした全国調査（直近では令和3年産）を3年ごとに、それ以外の中間年は主産県を対象に調査を実施しており、本年産は主産県調査年に当たる。

表2 調査品目別主産県一覧表

[illegible]